

平成 29 年度第 2 回福祉サービス運営委員会が 3 月 16 日（金）本部会議室において開催された。仲元委員長挨拶に続き、事務局および各施設の現状と苦情や要望の状況が報告・協議が行われた。

1 本部事務局

- ① 施設の現状について説明
- ② 苦情及び要望等～3 月 1 日深夜滝尾保育園隣家より本部に電話
「強風によりテントが飛ばされ、窓が破損」・・・テントの撤去、訪問し修繕費について園負担で諒解いただく

2 別府厚生館～11 世帯 36 名

- ① 重点的取組・施設の現状について説明
- ② 苦情～自治会（常会）でその内容と対応について報告
・隣家の騒音（部屋の移動） ・使用後の浴室を清潔に・駐輪場の整頓を
- ③ リスク管理委員会、虐待防止委員会での協議及び職員の共通理解により事故減少
・母親のこどもへの対応について一部不適切な関わり方あり指導

3 うえの園・清明あけぼの学園

- ① 重点的取組・施設の現状について説明
うえの園 19 名（定員 20 名）生活介護 現員 19 名、日中一時支援・短期入所定員 2 名、
相談支援事業所（延べ 148 件、今年度新規 15 件）
清明あけぼの学園 9 名（定員 10 名）、日中一時支援、短期入所 定員 2 名
- ② 苦情・要望
・新年度に向けての担当者や外出等の要望～サービス管理者に伝え検討
- ③ ヒヤリハット
・食事中に咽せる～食事の形態（大きさ・とろみ）に配慮して対応
- ④ 事故報告
・服薬ミス・転倒・他害行為（噛みつき、頭突き）・性的不適切行為～児相の指導によりグループワーク実施中
・不意の行動（器具破損）・無届外出（深夜に自転車実家に）
・冷蔵庫の利用者のおやつが紛失 ・公用車自損事故～（2）

4 森の木～本体施設 30 名 地域小規模 10 名

- ① 重点的取組と現状について説明
・被虐待児童入所率（72.5%）発達障害（42.5%）
・子育て支援事業（ショートステイ 122 人） ゆずりは相談等 1342 件 通院入院状況 延べ 196 名
- ② 苦情等
・一時保護幼児と入所幼児のトラブルを迎えの親に伝えなかったためにトラブル
職員への対応のあり方を再度指導
- ③ ヒヤリハット～全員に周知するとともに、重要な案件はシェル分析

5 滝尾保育園

- ① 重点的取組・現状について説明
・192 名（定員 170 名）
- ② 苦情等
3 月 1 日深夜強風によりテントが飛び隣家のガラスを破損～テントの撤去、事後処理
- ③ ヒヤリハット（25 件）事故につながらないように情報を共有
- ④ 事故報告
・噛みつき ・サッカーゴールパイプに衝突裂傷 ・転倒、壁に衝突
- ⑤ 感染症各種
- ⑥ 第 3 者評価受審により、課題が明確化
保護者への説明不足

6 明野しいのみ保育園

- ① 重点的取組・現状について説明
・140 名（定員 138 名）
- ② 要望及び苦情
・園児より引っ掻かれた件で保護者より苦情
- ③ ヒヤリハット・・・付箋に記載し提出→委員会で問題を整理し全職員へ周知
- ④ 事故報告（報告書→シェル分析→回覧→職員会議で報告）
・鉄棒で前転中に勢いがすぎ落下し、上腕骨顆上骨折
- ⑤ 感染症各種
- ⑦ その他
・対応が難しい園児と家庭への支援～ゆずりはとの連携、大分市子ども家庭支援センターへの報告
・空調外調機の騒音～設備更新及び外調機周囲へのダクト設置により騒音減少

協議

- 利用者家族から
 - ・ 高齢者を考える会の充実を期待している。
 - ・ 民間の放課後育成クラブが増えているのは
～保育園待機者増の先には育成クラブ利用者の増加があり、塾などがそれに便乗し経営している。
 - ・ 園児が増えて大変でしょうが、たくさんの玩具、手作り玩具等があり子どもたちが飽きることなく楽しめている。
 - ・ 子ども一人一人の状況をよく把握していただいて支援いただいている。門扉も手動で行うようになり誤作動道がなくなった。また、音鳴らなくなり近隣への迷惑もなくなった。
- 第3者委員から
 - ・ 森の木の縦割りユニットの効果が出ていることをお別れ会での子どもたちの様子で実感した。
 - ・ 幼児6名に職員1名の対応で職員が疲れているようだ。職員を増やせないか。
平成30年度は各ユニット4名で支援できるように職員募集中
 - ・ 職員の人間関係にはどのように対応
各種委員会での情報交換、休憩時に職員間での話し合う機会の保障、定期的な職員面談
 - ・ 「来たときよりも美しく」と様々な地域行事で呼びかけている。施設でも同じ取組が必要
 - ・ それぞれの施設の理念の共有、組織的取組、コンプライアンスへの取組、リスクマネジメントなどPDCAがよく回るようになってきた。現状を踏まえサービス向上に努めていただきたい。

最後に「法人では、職員がはつらつとして働けるように様々な改革に取り組んでいる。今後さらに働き方改革を進めていきたい。」との有松理事長のお礼の言葉でサービス運営委員会を終了した。